

GP6000シリーズ

システム設定

ユーザーガイド

GP6000-SYS-MM01-JA.00
05/2026

法律情報

本書に記載されている情報は、製品/ソリューションに関する一般的な説明、技術的特性、および推奨事項を含んでいます。

本書は、詳細な調査や運用/現場別の開発計画や概略図の代用となるものではありません。また、特定ユーザーの用途に対する製品/ソリューションの適合性または信頼性を判断するために使用すべきものではありません。関連する特定の用途または使用に関して製品/ソリューションの適切かつ包括的なリスク分析、評価、および試験を行うこと、または選択した専門家（インテグレーター、設計者等）に実施させることは、当該ユーザーの義務とします。

本書で言及されているPro-faceブランドならびにSchneider Electricおよびその子会社の商標は、Schneider Electricまたはその子会社の所有物です。その他すべてのブランドは、各所有者の商標である場合があります。

本書およびその記載内容は、該当する著作権法で保護されており、情報提供のみを目的とし提供されています。本書のいかなる部分も、いかなる形式や手段（電子的、機械的、複写、記録、またはその他）によっても、どのような目的であっても、シュナイダーエレクトリックから書面による事前の許可を得ずに、複製または頒布することはできません。

シュナイダーエレクトリックは、「現状のまま」文書を調べる非独占な個人ライセンスを除き、本ガイドまたはその記載内容を商業的に使用する権利またはライセンスを付与することはありません。

電気機器は有資格者のみが設置、操作、修理、保守するものとします。この資料を使用すること起因するいかなる結果についても、Schneider Electric は責任を負わないものとします。

シュナイダーエレクトリックは、本書の内容またはその形式に関して、いつでも予告なく変更または更新する権利を有します。

適用法により認められる範囲で、Schneider Electricおよびその子会社は、本書の情報コンテンツの誤りや記入漏れまたは本書に含まれる情報の使用に起因する結果、もしくはその結果から生じる結果に関し、一切責任を負いません。

目次

安全に関する使用上の注意	4
本書について	5
サイバーセキュリティ	8
サイバーセキュリティガイドライン	8
システム設定	9
初期設定	9
デバイスでのセットアップ	9
パソコン経由のセットアップ (リモートセットアップ)	11
System Settings の表示方法	14
パスワードの変更	15
パスワードのリセット	16
ユーザーアカウントの追加 / 削除	17
初期化 (ファクトリーリセット)	18
ファクトリーリセット (パスワードを使用している場合)	19
ファクトリーリセット (パスワードを使用していない場合)	20
バックアップと復元	21
トラブルシューティング	22
製品が正常に起動しない	22
HMI ランタイムが正常に動作しない	23
パスワードを忘れた場合	24
IP アドレスを忘れた場合	24
システム設定メニュー	24
Information	26
System	26
Display	31
Ethernet	33
Security	34
SiteManager	38

安全に関する使用上の注意

重要情報

本書をよくお読みいただき、装置の正しい取り扱いと機能を十分ご理解いただいた上で、設置、操作、保守を行ってください。本書および装置には以下の表示が使われています。これらは潜在的な危険を警告したり、手順を明確化あるいは簡素化する情報について注意を呼びかけるものです。



この記号が「危険」または「警告」安全ラベルに追加されると、電気的な危険が存在し、指示に従わないと人身傷害の危険があることを示します。



安全警告記号です。人的傷害の危険性があることを警告します。この記号の後に記載された安全に関する情報に従って、人的傷害や死亡の危険性を回避してください。

⚠ 危険

危険は、危険が生じる可能性のある状況を示します。回避しないと、死亡や重傷を招きます。

⚠ 警告

警告は、危険が生じる可能性のある状況を示します。回避しないと、死亡や重傷を招くおそれがあります。

⚠ 注意

注意は、危険が生じる可能性のある状況を示します。回避しないと、軽傷を招くおそれがあります。

注記

この表示は、指示に従わないと物的損害を負う可能性があることを示します。

以下の点に注意してください。

電気装置の設置、操作、サービス、および保守は有資格者のみが行うことができます。定められた範囲外の使用によって生じた結果については、シュナイダーエレクトリックは一切の責任を負いかねます。

有資格者とは、電気装置の構造および操作ならびに設置に関する技術と知識を持ち、関連する危険性を認識して回避するための安全トレーニングを受けた人を指します。

本書について

本書の適用範囲

本書では、GP6000 シリーズのシステム設定方法を説明します。

本書は、システム的设计、またはコンポーネントの設置やメンテナンスを行うユーザーを対象としています。

有効性に関する注意

本書は、GP6000 シリーズを対象として書かれています。

本書に記載されている製品の特性は、www.pro-face.com に掲載されている特性と一致することを意図しています。継続的改善を目指す当社の企業戦略の一環として、情報をより明確かつ正確なものにするため内容を改訂させていただく場合があります。この文書に記載されている特性と、www.pro-face.com に記載されている特性が異なる場合は、www.pro-face.com に最新の情報が記載されているとお考えください。

製品関連情報

GP6000 シリーズハードウェアガイドを参照してください。

一般的なサイバーセキュリティ情報

近年、ネットワークに接続されているパソコンや生産プラントの数が増加するにつれ、不正アクセス、データ漏洩、操業中断などのサイバー脅威の可能性が高まっています。したがって、このような脅威から資産やシステムを保護するために、あらゆるサイバーセキュリティ対策を考慮する必要があります。

Pro-face 製品を安全に保護するために、Cybersecurity Best Practices のドキュメントに記載されているサイバーセキュリティのベストプラクティスを実施することが最善策になります。

Pro-face は、追加情報およびサポートを提供しています。

- Security Notification ページからセキュリティ通知をご確認ください。
- 脆弱性およびインシデントについては、こちらからご連絡ください。

製品関連のサイバーセキュリティ情報

サイバーセキュリティ, 8 ページ を参照してください。

本ドキュメントの翻訳言語

本書は以下の言語でご覧いただけます：

- 英語 (GP6000-SYS-MM01-EN)
- フランス語 (GP6000-SYS-MM01-FR)
- ドイツ語 (GP6000-SYS-MM01-DE)
- スペイン語 (GP6000-SYS-MM01-ES)
- イタリア語 (GP6000-SYS-MM01-IT)
- 中国語 (GP6000-SYS-MM01-CS)
- 日本語 (GP6000-SYS-MM01-JA)
- 韓国語 (GP6000-SYS-MM01-KO)

関連マニュアル

文書のタイトル	参照番号
Cybersecurity Best Practices	一般的なサイバーセキュリティ情報, 5 ページを参照してください。
HMI/IPC Cybersecurity Guide	PFHMIIPCCS-MM01-EN (英語) PFHMIIPCCS-MM01-JA (日本語)
GP6000 シリーズアドバンスモデルハードウェアガイド	英語 (GP6000-MM01-EN) フランス語 (GP6000-MM01-FR) ドイツ語 (GP6000-MM01-DE) スペイン語 (GP6000-MM01-ES) イタリア語 (GP6000-MM01-IT) 中国語 (GP6000-MM01-CS) 日本語 (GP6000-MM01-JA) 韓国語 (GP6000-MM01-KO)
GP6000 シリーズスタンダードモデルハードウェアガイド	英語 (GP6000-STD-MM01-EN) フランス語 (GP6000-STD-MM01-FR) ドイツ語 (GP6000-STD-MM01-DE) スペイン語 (GP6000-STD-MM01-ES) イタリア語 (GP6000-STD-MM01-IT) 中国語 (GP6000-STD-MM01-CS) 日本語 (GP6000-STD-MM01-JA) 韓国語 (GP6000-STD-MM01-KO)

ソフトウェアマニュアルなど本製品に関連するマニュアルは、Pro-face ダウンロードページ (www.pro-face.com/trans/ja/manual/1085.html) からダウンロードできます。

非包括的または差別的な用語に関する情報

弊社は、責任ある、ソーシャルインクルージョン(社会的包摂)を掲げた企業として、非包括的または差別的な用語を含む文書および製品を順次更新しております。このように努めてはおりますが、弊社が提供するコンテンツに、お客様が不適切と感じる可能性のある用語が含まれている場合がございますことをご了承ください。

商標

Microsoft®とWindows®は米国およびその他の国のMicrosoft Corporationにおける登録商標です。

本書に記載の製品名は、それぞれの権利者の登録商標である場合があります。

サイバーセキュリティ

サイバーセキュリティガイドライン

本製品は、セキュアな産業制御システムの下で使用してください。サイバー攻撃の脅威からコンポーネント (装置/デバイス)、システム、組織、およびネットワークを総合的に保護するためには、多層的なサイバーリスク低減措置、インシデントの早期発見、インシデント発生時の適切な対処と復旧計画が必要です。サイバーセキュリティの詳細については、Pro-face HMI/IPC サイバーセキュリティガイドを参照してください。

https://www.proface.com/ja/download/manual/cybersecurity_guide

▲ 警告

システムの可用性、完全性、機密性に対する潜在的な侵害

- デバイスの設定、制御、および情報への不正アクセスを防ぐために、初回使用時に既定のパスワードを変更してください。
- 悪意のある攻撃の経路を最小限に抑えるために、可能な限り、使用していないポート/サービスおよびデフォルトアカウントを無効にしてください。
- ネットワークに接続されたデバイスは、多層のサイバー防御 (ファイアウォール、ネットワークセグメンテーション、およびネットワーク侵入検出と保護など) の背後に配置してください。
- 最新のアップデートと修正プログラムをオペレーティングシステムとソフトウェアに適用してください。
- サイバーセキュリティのベストプラクティス (例 : 最低限の権限、職務の分離) を使用して、データやログの不正な漏洩、損失、および改ざん、サービスの中断、または意図しない操作を防止してください。

上記の指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷を負う可能性があります。

システム設定

この章の内容

初期設定.....	9
System Settings の表示方法	14
パスワードの変更.....	15
パスワードのリセット	16
ユーザーアカウントの追加 / 削除	17
初期化 (ファクトリーリセット)	18
バックアップと復元	21
トラブルシューティング	22
システム設定メニュー	24

初期設定

はじめて本製品に電源を入れた後、システムのセットアップを行います。

System Settings では、製品のハードウェア構成や IP アドレスなどのネットワーク設定を行います。

パネルマウントタイプ

デバイスでのセットアップ, 9 ページ を参照してください。

GP6000 シリーズアドバンスドモデルの DIN マウントタイプ

パソコン経由のセットアップ (リモートセットアップ), 11 ページを参照してください。

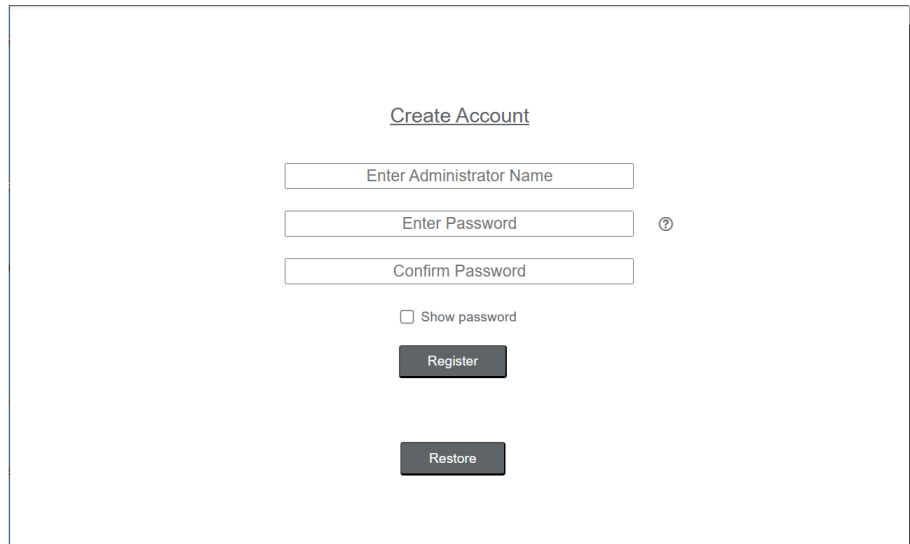
注記 : 拡張ディスプレイを接続している場合、パネルマウントタイプと同じ設定を作成できません。

デバイスでのセットアップ

ここでは、製品画面上でのセットアップ方法を説明します。

1. 本製品の電源を入れます。

2. **Create Account** 画面が表示されます。**System Settings** の管理者用ユーザーアカウントを作成します。ユーザー名とパスワードを入力し、**Register** ボタンをタッチします。



Create Account

Enter Administrator Name

Enter Password [?]

Confirm Password

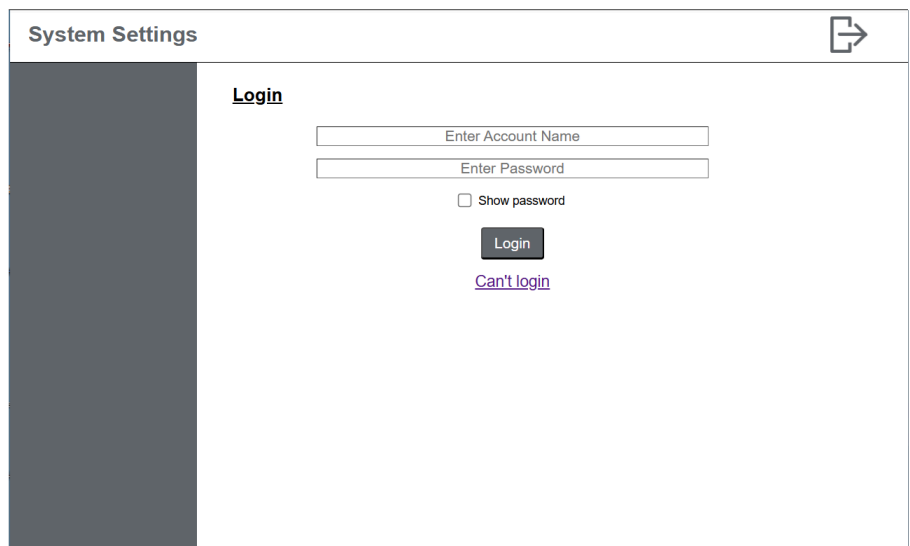
Show password


Register

Restore

注記：

- パスワードは8文字以上で、大文字、小文字、数字、特殊文字をそれぞれ1つ以上含める必要があります。
 - パスワードはいつでも変更できます。詳細については、パスワードの変更, 15ページを参照してください。
3. **Welcome** 画面が表示されます。**System Settings** をタッチします。
 4. **Login** 画面が表示されます。先ほど設定したユーザー名とパスワードを入力し、**Login** ボタンをタッチします。



System Settings 

Login

Enter Account Name

Enter Password

Show password

Login

[Can't login](#)

5. **System Settings** のメニューが表示されます。**System > Date and Time** を選択して、製品の時計データを設定し、**Save** ボタンをタッチします。

The screenshot shows the 'System Settings' application. On the left is a navigation menu with options: Information, System, System Monitor, Date and Time (selected), Language, Factory Reset, Backup Restore, Display, Ethernet, Security, and SiteManager. The main content area is titled 'Date and Time' and includes:

- Date: 2025/06/17
- Time: 04:47:35
- Timezone: UTC with a 'Change' button
- Synchronized with NTP server: Disabled (toggle)
- NTP Server: [input field] with a 'Test' button
- A 'Save' button at the bottom.

6. メニューから **Ethernet** を選択します。必要に応じてネットワークのプロパティを変更し、**Save** ボタンをタッチします。

The screenshot shows the 'System Settings' application with 'Ethernet' selected in the navigation menu. The main content area is titled 'Ethernet' and includes:

- IP Mode: Manual
- IP Address: 192.168.1.80
- Subnet Mask: 255.255.255.0
- Default Gateway: [input field]
- DNS Settings: Manual
- Speed & duplex: Auto negotiation
- MAC address: [input field]
- A 'Save' button at the bottom.

7. 必要に応じてその他の設定を変更します。システム設定機能の詳細については、システム設定メニュー、24 ページを参照してください。

注記： 管理者アカウントに加えて、標準ユーザーアカウントを 1 つ追加できます。詳細については、ユーザーアカウントの追加 / 削除、17 ページを参照してください。通常の操作では標準ユーザーアカウントを使用し、システム開発時やメンテナンス時にのみ管理者アカウントを使用するなど、状況に応じて適切なアカウントを使用してください。

8. 画面右上のログアウトアイコンをタッチします。**Welcome** 画面が表示されます。
9. 画面作成ソフトウェアからプロジェクトファイルを転送します。転送方法については、ご使用の画面作成ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

パソコン経由のセットアップ (リモートセットアップ)

ここでは、製品をパソコンに接続して、ブラウザーからシステム設定を設定する方法について説明します。

この設定方法は GP6000 シリーズアドバンスドモデルの DIN マウントタイプでのみ使用できません。

1. 本製品の LAN ポート (ETH1) にイーサネットケーブルを取り付け、パソコンと接続します。パソコンを本製品と同じネットワークに接続するには、パソコンの IP アドレスとサブネットマスクを次のように変更します。

IP アドレス : 192.168.1.* (192.168.1.80 以外の任意のアドレス)

サブネットマスク : 255.255.255.0

注記 : Windows 11 をご使用の場合は、以下の手順で IP アドレスを設定してください。

(1) スタートメニューから、**設定 > ネットワークとインターネット**を選択します。

(2) **イーサネット**の横にある**プロパティ**をクリックします。

(3) **IP アドレスの割り当て**の横にある**編集**をクリックし、ドロップダウンメニューから**手動**を選択し、**保存**をクリックします。

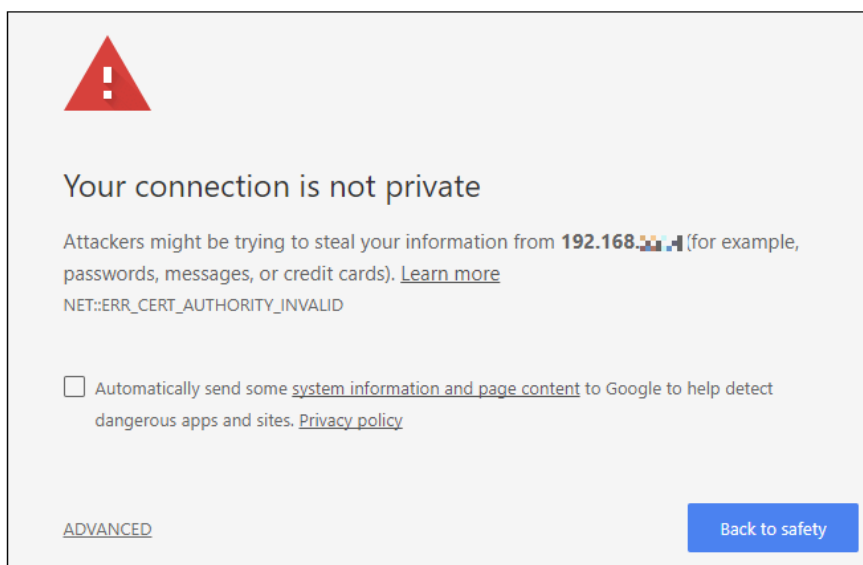
(4) **IPv4** を有効にし、IP アドレス、サブネットマスクなどを入力します。

2. 本製品の電源を入れます。

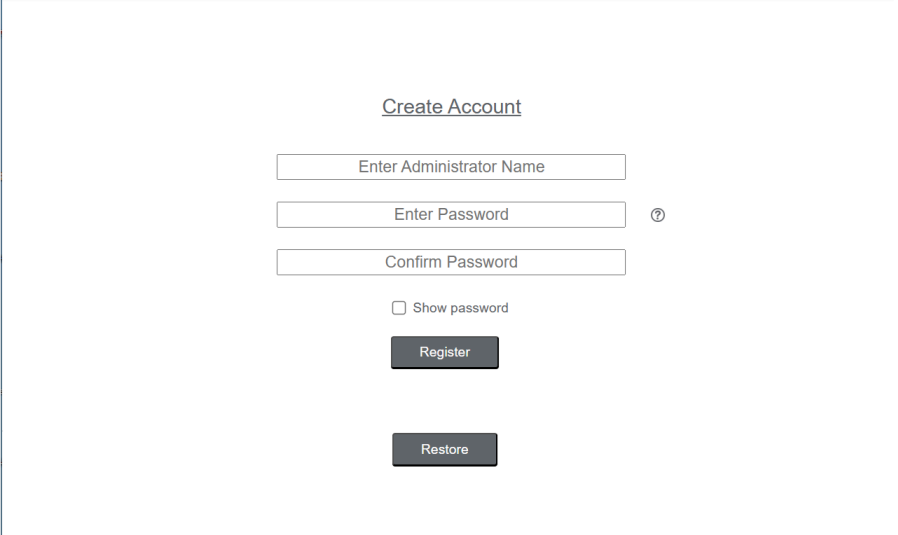
3. パソコン上で Web ブラウザーを開き、次の URL を入力します。

https://192.168.1.80:8443/

4. 接続が確立されると、HMI デバイスは暗号化に使用する証明書を送信します。証明書は認証機関から署名されていないため、警告メッセージが表示されます。詳細設定 **ADVANCED オプション**をクリックし、次に進みます。



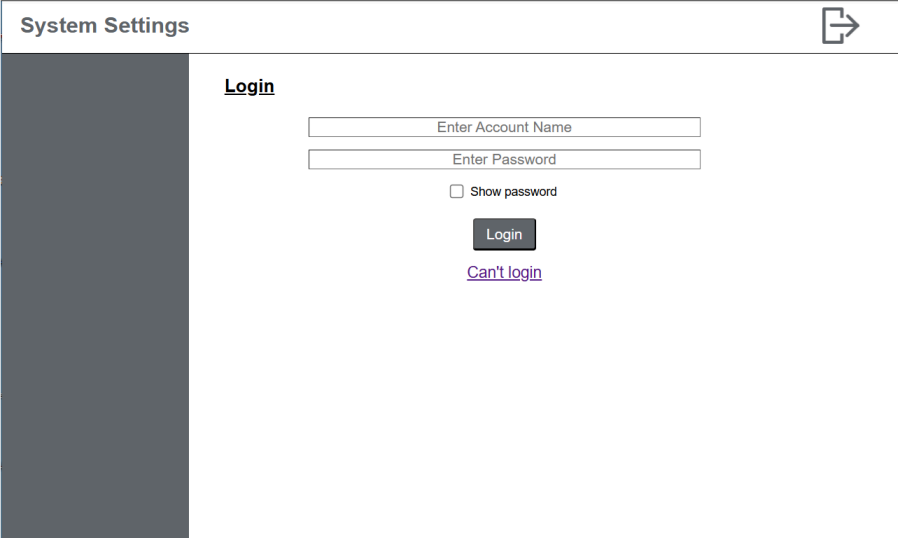
5. **Create Account** 画面が表示されます。**System Settings** の管理者用ユーザーアカウントを作成します。ユーザー名とパスワードを入力し、**Register** ボタンをクリックします。



The screenshot shows the 'Create Account' form. It has a title 'Create Account' at the top. Below the title are three input fields: 'Enter Administrator Name', 'Enter Password', and 'Confirm Password'. To the right of the 'Enter Password' field is a help icon (a question mark in a circle). Below the input fields is a checkbox labeled 'Show password'. At the bottom of the form are two buttons: 'Register' and 'Restore'.

注記 :

- パスワードは 8 文字以上で、大文字、小文字、数字、特殊文字をそれぞれ 1 つ以上含める必要があります。
 - パスワードはいつでも変更できます。詳細については、パスワードの変更, 15 ページを参照してください。
6. **Login** 画面が表示されます。先ほど設定したユーザー名とパスワードを入力し、**Login** ボタンをクリックします。



The screenshot shows the 'Login' form within the 'System Settings' interface. The title 'System Settings' is at the top left, and there is a home icon at the top right. The form has a title 'Login' and two input fields: 'Enter Account Name' and 'Enter Password'. To the right of the 'Enter Password' field is a checkbox labeled 'Show password'. Below the input fields is a 'Login' button and a link labeled 'Can't login'.

7. **System Settings** メニューが表示されます。**System > Date and Time** を選択し、時計データを設定し、**Save** ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'System Settings' interface. On the left is a navigation menu with options: Information, System, System Monitor, Date and Time (selected), Language, Factory Reset, Backup Restore, Display, Ethernet, Security, and SiteManager. The main content area is titled 'Date and Time' and includes the following fields: Date (2025/06/17), Time (04:47:35), Timezone (UTC with a 'Change' button), a toggle for 'Synchronized with NTP server' (currently 'Disable'), an NTP Server input field with a 'Test' button, and a 'Save' button at the bottom.

8. メニューから **Ethernet** を選択します。必要に応じてネットワーク設定を変更し、**Save** ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'System Settings' interface with 'Ethernet' selected in the left menu. The main content area is titled 'IP Mode' and includes: IP Mode (Manual), IP Address (192.168.1.80), Subnet Mask (255.255.255.0), Default Gateway (.), DNS Settings (Manual), Speed & duplex (Auto negotiation), and MAC address (00:00:00:00:00:00). A 'Save' button is located at the bottom right.

9. 必要に応じてその他の設定を変更します。システム設定機能の詳細については、システム設定メニュー、24 ページを参照してください。

注記： 管理者アカウントに加えて、標準ユーザーアカウントを 1 つ追加できます。詳細については、ユーザーアカウントの追加 / 削除、17 ページを参照してください。通常の運用時には標準ユーザーアカウントを使用し、システム開発やメンテナンス時のみ管理者アカウントを使用するなど、状況に応じて適切なアカウントを使用してください。

10. 画面右上のログアウトアイコンをクリックします。
11. 画面作成ソフトウェアからプロジェクトファイルを転送します。転送方法については、ご使用の画面作成ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

System Settings の表示方法

ここでは、画面作成ソフトウェアからプロジェクトファイルを転送した後に **System Settings** を表示する方法について説明します。

パネルマウントタイプ

ご使用の画面作成ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

GP6000 シリーズアドバンスドモデルの DIN マウントタイプ

1. 本製品の LAN ポートからイーサネットケーブルを使用してネットワークに接続します。パソコンの IP アドレスとサブネットマスクを変更し、製品と同じネットワークに接続します。
2. パソコンでブラウザを開き、以下の URL を入力します。

https://<IP アドレス>:8443/

"<IP アドレス>" の部分には、ご使用の製品の IP アドレスを入力してください。

注記：

- 製品の IP アドレスが不明な場合、IP アドレスを忘れた場合、24 ページ参照してください。
- 拡張ディスプレイを接続している場合、パネルマウントタイプと同じ方法で **System Settings** を表示できます。ご使用の画面作成ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

パスワードの変更

ここでは認証に使用されているパスワードの変更方法について説明します。

1. **System Settings** にログインします。

注記： **System Settings** にアクセスする方法については、System Settings の表示方法、14 ページを参照してください。

2. メニューから **Security > Password** を選択します。

The screenshot shows the 'System Settings' application. On the left is a navigation menu with categories: Information, System, Display, Ethernet, Security, Password, User Account, Firewall, IP Forwarding, and SiteManager. The 'Security' category is expanded, and 'Password' is selected. The main content area is titled 'Change Password' and contains the following elements: a radio button selection for 'Use password' (selected) and 'Do not use password'; three input fields for 'admin', 'Current Password', and 'New Password' (with a help icon); a 'Confirm Password' field; a 'Show password' checkbox; a 'Register' button; a section titled 'Password Reset on Login Screen' with an 'Enable' toggle switch; and a 'Save' button at the bottom right.

3. ログインしているユーザーの現在のパスワードを入力します。
4. 新しいパスワードを入力し、**Register** ボタンをタッチします。

注記：

- パスワードは 8 文字以上で、大文字、小文字、数字、特殊文字をそれぞれ 1 つ以上含める必要があります。
- パスワード認証を使用しないよう変更する場合は、**Do not use password** を選択します。標準ユーザーアカウントが既に存在するときは、まずそのアカウントを削除してください。標準ユーザーアカウントは、メニューから **Security > User Account** を選択することで削除できます。
- パスワードを使用しない場合、不正アクセスリスクが高まります。システムを安全に運用するためにはパスワードで保護することを強くお勧めします。
- パスワードを使用しない状態から使用する状態に変更するには、パスワードリセットが必要です。パスワードのリセット、16 ページを参照してください。

パスワードのリセット

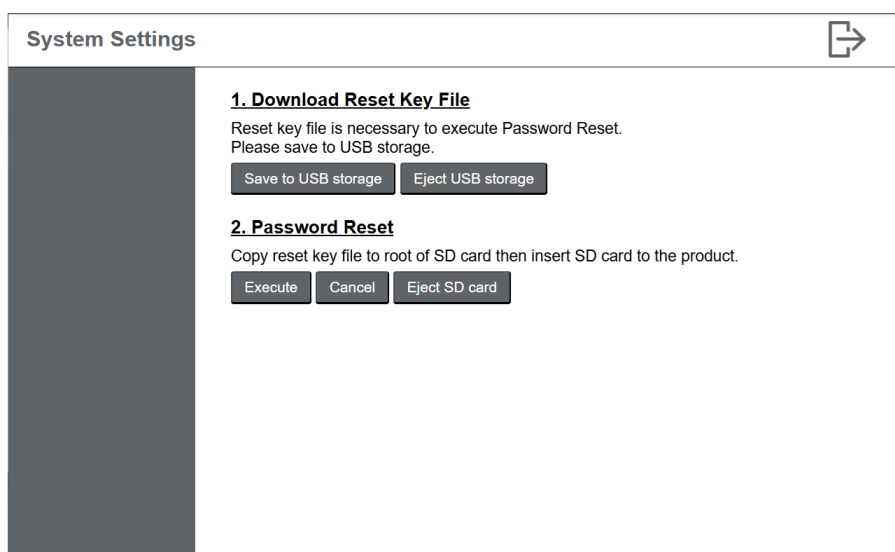
パスワードを忘れた場合に、パスワードをリセットすることができます。

パスワードリセットを実行するには、オプション品の SD カードと市販の USB ストレージが必要です。あらかじめ FAT、FAT32、exFAT 形式のファイルシステムでフォーマットされた外部ストレージを準備してください。

注記：

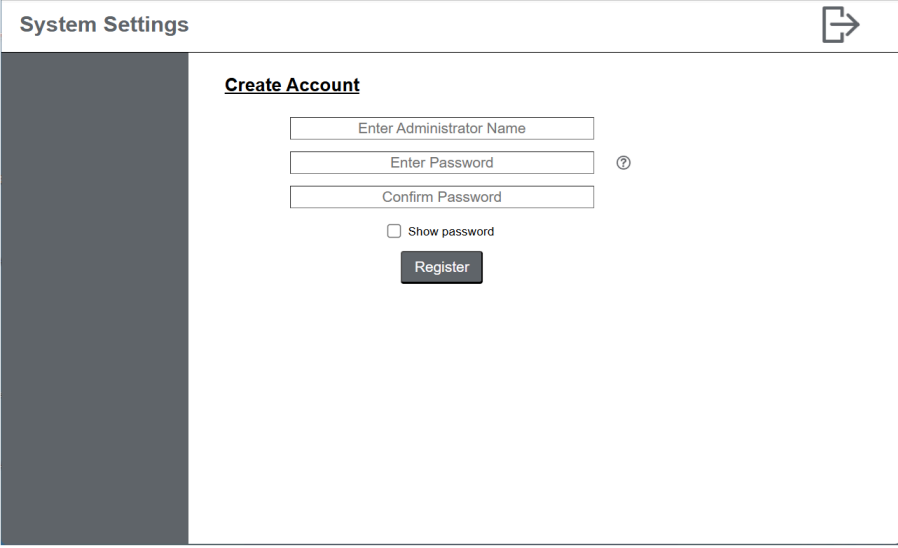
- **Password Reset on Login Screen** を無効に設定している場合、管理者用パスワードを忘れるとパスワードのリセットや製品内のデータの復元はできません。
- パスワードをリセットすると、すべてのアカウントがリセットされます。
- パスワードを使用しない状態から使用する状態に変更するには、パスワードリセットが必要です。メニューから **Security > Password** を選択し、次の手順 2 に進んでください。

1. **System Settings** のログイン画面で **Can't login** をタッチします。次の画面が表示されます。



2. USB ストレージを本製品に接続します。
3. **Save to USB storage** ボタンをタッチします。リセット用のキーファイルが USB ストレージに保存されます。
4. **Eject USB storage** ボタンをタッチします。USB ストレージ LED が消灯していることを確認します。
5. USB ストレージを本製品から取り外し、パソコンに接続します。
6. USB ストレージ内のキーファイルをコピーし、SD カードのルートディレクトリに貼り付けます。
7. SD カードをパソコンから取り外し、本製品に挿入します。
8. **Execute** ボタンをタッチします。パスワードリセットが実行されます。

9. **Create Account** 画面が表示されます。ユーザー名とパスワードを入力し、管理者用アカウントを作成し直します。



The screenshot shows a web interface titled "System Settings" with a "Create Account" section. The form includes three input fields: "Enter Administrator Name", "Enter Password", and "Confirm Password". There is a "Show password" checkbox and a "Register" button. A help icon (?) is located to the right of the password fields.

注記： リセットキーファイルは他の製品でのリセットには使用できません。それぞれの製品で実行してください。

ユーザーアカウントの追加 / 削除

セットアップ時に作成した管理者用アカウントとは別の、標準ユーザーアカウントを作成します。管理者のみが、その他のアカウントの追加・削除を管理できます。

注記：

- 追加できる標準ユーザーアカウントは 1 つのみです。
- 管理者アカウントがパスワードを使用しない設定にされている場合は、標準ユーザーアカウントを作成することができません。
- 意図しない設定変更から製品を保護するために、製品の通常運転中は標準ユーザーアカウントを使用することをお勧めします。
- パスワードは 8 文字以上で、大文字、小文字、数字、特殊文字をそれぞれ 1 つ以上含める必要があります。
- パスワードを忘れた場合は、標準ユーザーアカウントをいったん削除して、新しいアカウントを作成し直してください。パスワードリセット機能を実行した場合は、管理者アカウントも削除されますのでご注意ください。
- 標準ユーザーアカウントがパスワードを使用しない場合、このアカウントがデフォルトで使用され、ログイン画面は表示されません。

1. **System Settings** にログインします。

注記： **System Settings** にアクセスする方法については、System Settings の表示方法, 14 ページ を参照してください。

2. メニューから **Security > User Account** を選択します。

3. ユーザー名とパスワードを入力し、**Register** ボタンをタッチします。

ユーザーアカウントの削除

メニューから **Security > User Account** を選択します。

初期化 (ファクトリーリセット)

製品をご購入時の状態に戻します。製品内に保存されていたデータは消去され、システム設定は工場出荷時の状態に初期化されます。

注記： ファクトリーリセットを実行する前に、必要に応じてデータのバックアップをおこなってください。

ファクトリーリセットは管理者のみが実行できます。

ファクトリーリセットの実行方法は、システム設定へのログインにパスワード認証を使用しているかどうかによって異なります。

ファクトリーリセット (パスワードを使用している場合), 19 ページ

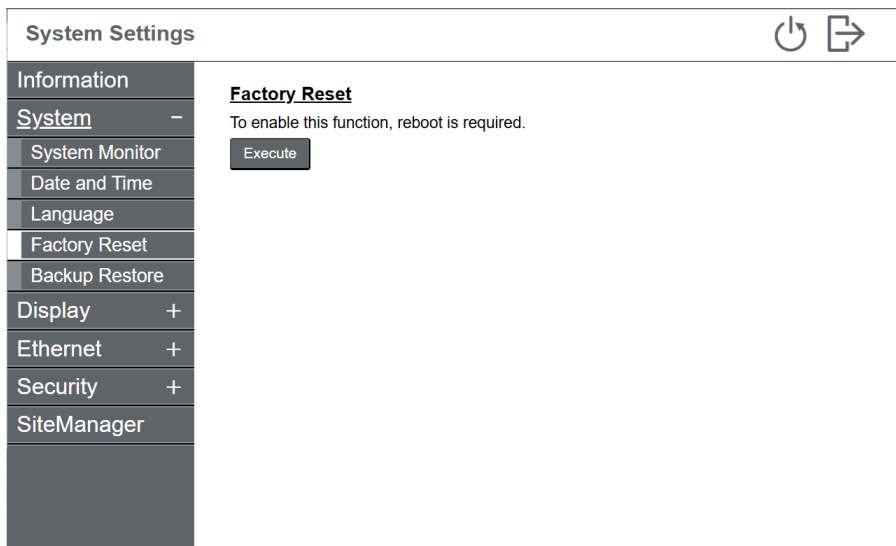
ファクトリーリセット (パスワードを使用していない場合), 20 ページ

ファクトリーリセット (パスワードを使用している場合)

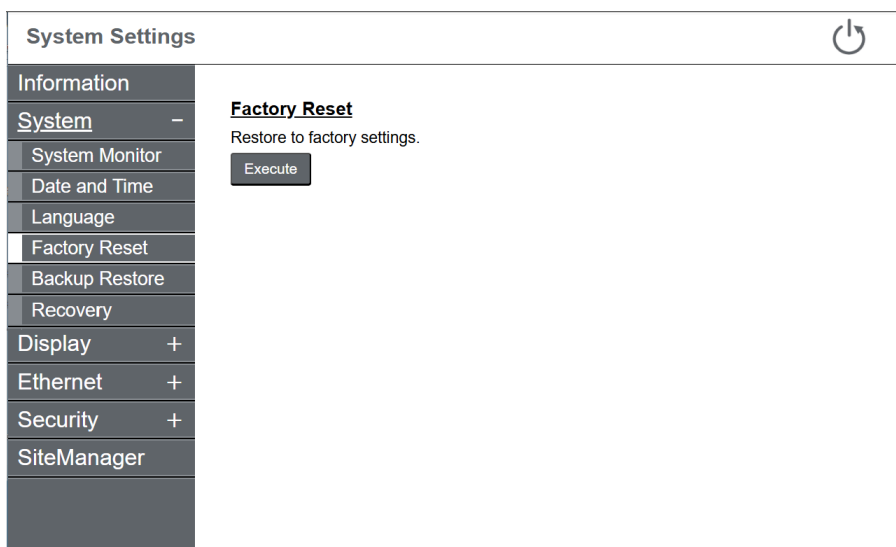
1. **System Settings** にログインします。

注記： **System Settings** にアクセスする方法については、System Settings の表示方法, 14 ページを参照してください。

2. メニューから **System > Factory Reset** を選択します。



3. **Execute** ボタンをタッチします。製品が再起動します。
4. 再度 **System Settings** にログインします。
5. メニューから **System > Factory Reset** を選択します。



6. **Execute** ボタンをタッチします。ファクトリーリセットが実行され、製品が再起動します。

注記

データの損失

初期化中は電源を切らないでください。

上記の指示に従わないと、機器の損傷を負う可能性があります。

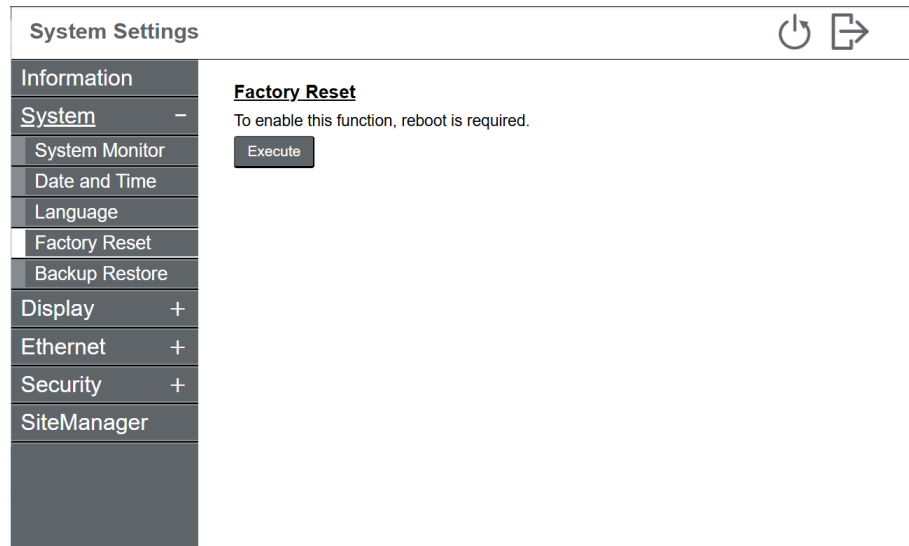
ファクトリーリセット (パスワードを使用していない場合)

ファクトリーリセットを実行するには、オプション品の SD カードと市販の USB ストレージが必要です。あらかじめ FAT、FAT32、exFAT 形式のファイルシステムでフォーマットされた外部ストレージを準備してください。

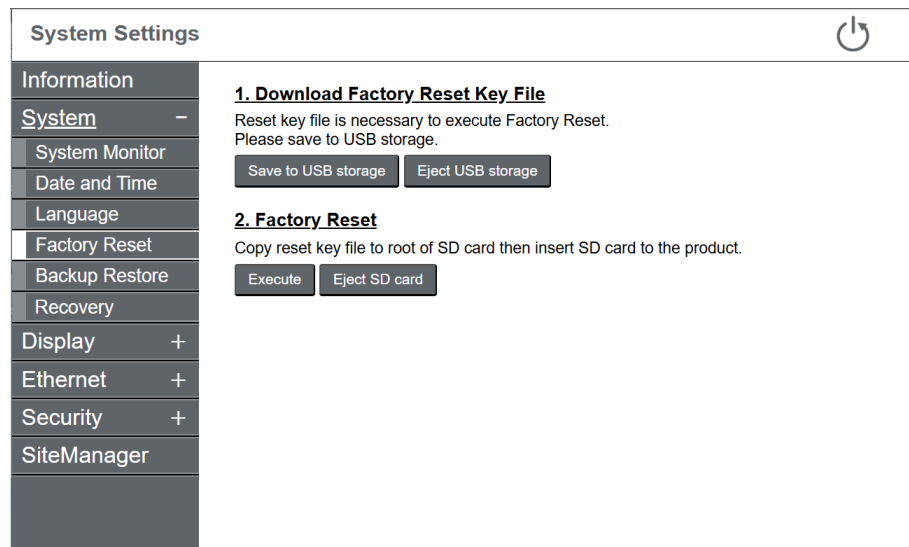
1. **System Settings** を表示します。

注記： **System Settings** にアクセスする方法については、System Settings の表示方法, 14 ページ を参照してください。

2. メニューから **System > Factory Reset** を選択します。



3. **Execute** ボタンをタッチします。製品が再起動します。
4. メニューから **System > Factory Reset** を選択します。



5. USB ストレージを本製品に接続します。
6. **Save to USB storage** ボタンをタッチします。リセット用のキーファイルが USB ストレージに保存されます。
7. **Eject USB storage** ボタンをタッチします。USB ストレージ LED が消灯していることを確認します。
8. USB ストレージを本製品から取り外し、パソコンに接続します。
9. USB ストレージ内のキーファイルをコピーし、SD カードのルートディレクトリに貼り付けます。
10. SD カードをパソコンから取り外し、本製品に挿入します。
11. **Execute** ボタンをタッチします。ファクトリーリセットが実行され、製品が再起動します。

注記

データの損失

初期化中は電源を切らないでください。

上記の指示に従わないと、機器の損傷を負う可能性があります。

注記： リセットキーファイルは他の製品でのリセットには使用できません。それぞれの製品で実行してください。

バックアップと復元

製品内のデータを外部ストレージにバックアップします。また、そのバックアップファイルを使用して製品を復元します。

バックアップまたは復元は管理者のみが実行できます。

この機能を実行するには、外部ストレージが必要です。リカバリーメディア用として、次の条件を満たす専用の外部ストレージをご用意ください。

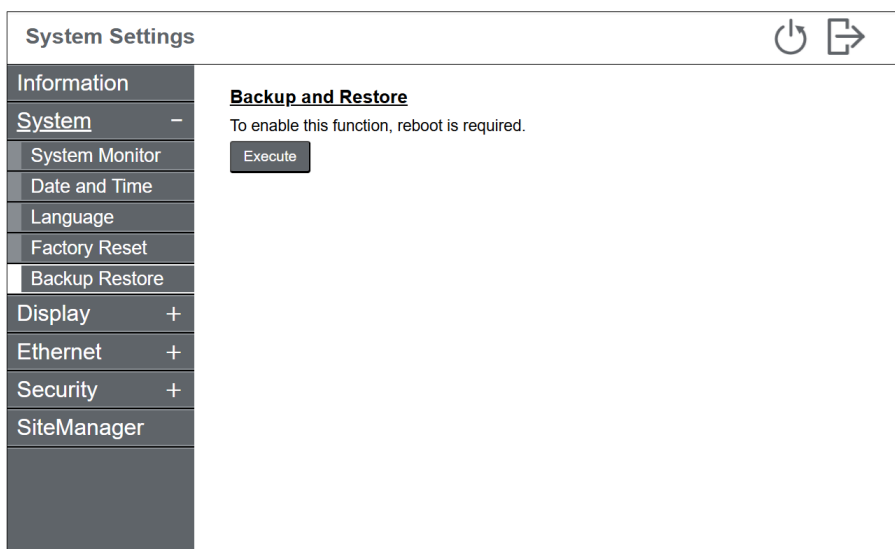
- 4 GB 以上の空き容量
- FAT、FAT32 または exFAT 形式のファイルシステムでフォーマットされている

リカバリーメディアの作成

1. **System Settings** にログインします。

注記： **System Settings** にアクセスする方法については、**System Settings** の表示方法, 14 ページ を参照してください。

2. メニューから **System > Backup Restore** を選択します。



3. **Execute** ボタンをタッチします。製品が再起動します。
4. 外部ストレージを本製品に接続します。

- 再度 **System Settings** にログインします。メニューから **System > Backup Restore** を選択します。

- バックアップ用のパスワードを設定し、保存先の外部ストレージを選択します。
- Backup** ボタンをタッチします。外部ストレージにバックアップファイルが作成されます。
- Eject** ボタンをタッチします。対応する LED が消灯していることを確認し、製品から外部ストレージを取り外します。

リカバリーメディアを使用した製品の復元

- バックアップファイルが保存された外部ストレージを製品に接続します。
- System Settings** にログインします。メニューから **System > Backup Restore** を選択します。(上記手順 1 ~ 6 と同様です。)
- Restore** ボタンをタッチします。復元が実行されると、製品が再起動します。

注記

データの損失

バックアップまたは復元中は電源を切らないでください。

上記の指示に従わないと、機器の損傷を負う可能性があります。

注記： **Restore** の実行後、一部の設定項目については再設定が必要となる場合があります。詳細については、ご使用の画面作成ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

トラブルシューティング

製品が正常に起動しない

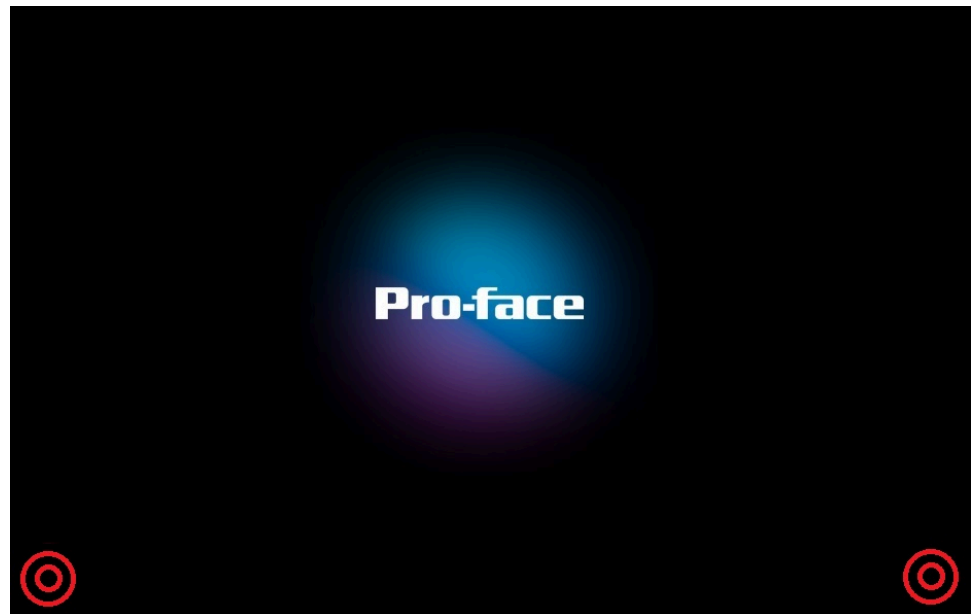
何らかの理由で製品が正常に起動しない場合や、**System Settings** を開けない場合は、以下の操作を試してください。

パネルマウントタイプ

製品の電源を入れてから 15 秒以内に、または起動画面 (スプラッシュ画面) が消えてからすぐに、画面の左下隅または右下隅をダブルタップします。**System Settings** が開きます。

注記：

- 起動画面の表示は画面作成ソフトウェアの設定によって異なります。詳細については、ご使用の画面作成ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- ダブルタップしても画面が切り替わらない場合は、繰り返しタップしてください。



事前にリカバリーメディアを用意している場合は、それを使用してリストアを実行します。

バックアップと復元, 21 ページ を参照してください。

バックアップを実施していない場合は、ファクトリーリセットを実行します。

初期化 (ファクトリーリセット), 18 ページを参照してください。

GP6000 シリーズアドバンスドモデルの DIN マウントタイプ

一時的に本製品のデフォルト IP アドレスを使用して、パソコンから製品にアクセスします。

1. 本製品の LAN ポート (ETH1) にイーサネットケーブルを取り付け、パソコンと接続します。パソコンの IP アドレスとサブネットマスクを変更して、製品と同じネットワークに接続します。

IP アドレス : 192.168.1.* (192.168.1.80 以外の任意のアドレス)

サブネットマスク : 255.255.255.0

2. USB ストレージエject ボタンを押しながら製品の電源を入れます。製品はデフォルト IP アドレスで起動し、**System Settings** が設定可能になります。

3. パソコン上で Web ブラウザーを開き、次の URL を入力します。

<https://192.168.1.80:8443/>

事前にリカバリーメディアを用意している場合は、それを使用してリストアを実行します。

バックアップと復元, 21 ページ を参照してください。

バックアップを実施していない場合は、ファクトリーリセットを実行します。

初期化 (ファクトリーリセット), 18 ページ を参照してください。

注記： 製品を再起動すると、デフォルト IP アドレスを使用したリモートアクセスは終了します。

HMI ランタイムが正常に動作しない

HMI ランタイムが正常に動作しなくなった場合、以下の操作をおこなってください。

1. 製品の電源を入れてから 15 秒以内に、画面の左下隅または右下隅をダブルタップします。コンフィグレーションモードの **System Settings** が開きます。
2. **System Settings** にログインします。
3. **System > Recovery** を選択します。
4. **Execute** ボタンをタッチします。製品はリカバリモードで再起動します。
5. 画面作成ソフトウェアからプロジェクトファイルを転送します。転送方法については、ご使用の画面作成ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

パスワードを忘れた場合

パスワードをリセットします。手順については、パスワードのリセット, 16 ページ を参照してください。

IP アドレスを忘れた場合

パネルマウントタイプ

System Settings を開いて IP アドレスを確認できます。

GP6000 シリーズアドバンスモデルの DIN マウントタイプ

一時的に本製品のデフォルト IP アドレスを使用して、パソコンから製品にアクセスします。

1. 本製品の LAN ポート (ETH1) にイーサネットケーブルを取り付け、パソコンと接続します。パソコンの IP アドレスとサブネットマスクを変更して、製品と同じネットワークに接続します。

IP アドレス : 192.168.1.* (192.168.1.80 以外の任意のアドレス)

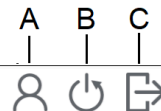
サブネットマスク : 255.255.255.0

2. USB ストレージイジェクトボタンを押しながら製品の電源を入れます。製品はデフォルト IP アドレスで起動し、**System Settings** が設定可能になります。
3. パソコン上で Web ブラウザーを開き、次の URL を入力します。
https://192.168.1.80:8443/
4. **System Settings** にログインして、IP アドレスを確認します。IP アドレスを変更する場合は、メニューから **Ethernet** を選択します。

注記 : IP アドレスを変更したり、製品を再起動したりすると、デフォルト IP アドレスを使用したリモートアクセスは終了します。

システム設定メニュー

ここでは、**System Settings** の機能について説明します。



System Settings	
<u>Information</u>	
System +	System Status System Message : System is running. Welcome Version :
Display +	
Ethernet +	ETH1 IP Mode : MANUAL IP Address : 192.168.1.80 Subnet Mask : 255.255.255.0
Security +	
SiteManager	ETH2 IP Mode : DISABLED IP Address : ---- Subnet Mask : ----

	機能	説明
A	アカウント切り替え	ユーザーアカウントを切り替えます。 管理者アカウントの他に、標準ユーザーアカウントを作成した場合には表示されます。
B	リポート	製品を再起動します。
C	終了	ログアウトして System Settings を終了し、前の画面に戻ります。

メニュー		説明
Information	-	システムのステータスやバージョン情報などが表示されます。
System	System Monitor	本製品の起動回数や累計操作時間、本製品内部の温度などが表示されます。また、システム設定の操作ログをエクスポートします。
	Date and Time	製品の内部時計を設定します。
	Language	システム設定のユーザーインターフェイス言語を選択します。
	Factory Reset ^{*1}	製品を元の状態に戻します。
	Backup Restore ^{*1}	製品内のデータを USB ストレージにバックアップします。また、そのバックアップファイルを使用して製品を復元します。
	Recovery ^{*14}	HMI ランタイムが正常に動作しなくなった場合、製品をリカバリモードで再起動します。
Display ^{*3}	Display1	輝度調整やタッチチェックなどディスプレイに関する設定を行います。
Ethernet ^{*1}	ETH1/ETH2	イーサネット設定を行います。
Security	Password	ログインパスワードを変更します。
	User Account ^{*1*2}	管理者権限を持つアカウントとは別に、標準ユーザーアカウントを登録します。またそのユーザーアカウントを削除します。
	Firewall ^{*1}	ファイアウォールに関する設定を行います。
	IP Forwarding ^{*1*6}	受信した IP パケットを宛先情報に基づいて適切なインターフェイスに転送し、異なるネットワーク間の通信を可能にします。
	External Access ^{*1*5}	システム設定へのリモートアクセスを許可するかどうかを設定します。
SiteManager ^{*1}	-	Pro-face Connect を使用して本製品にリモートアクセスできるように、SiteManager を設定します。

- *1 管理者アカウントでログインしている場合にのみ表示されます。
- *2 パスワード認証を使用していない場合は表示されません。
- *3 GP6000 シリーズアドバンスモデルの DIN マウントタイプの場合、このメニューは拡張ディスプレイが Type-C インターフェイスに接続されている場合にのみ表示されます。
- *4 この機能は、ご使用の画面作成ソフトウェアが対応している場合にのみ使用できます。
- *5 このメニューは、GP6000 シリーズアドバンスモデルの DIN マウントタイプにのみ表示されません。
- *6 このメニューは、GP6000 シリーズアドバンスモデルにのみ表示されます。

Information

システムのステータスやバージョン情報などが表示されます。

System Settings
🔄 📄

Information	
System	+
Display	+
Ethernet	+
Security	+
SiteManager	

System Status

System Message : System is running.
Welcome Version : 🇯🇵 🇯🇵 🇯🇵 🇯🇵

ETH1

IP Mode : MANUAL
IP Address : 192.168.1.80
Subnet Mask : 255.255.255.0

ETH2

IP Mode : DISABLED
IP Address : ----
Subnet Mask : ----

機能	説明
System Status	システムのステータスやバージョンが表示されます。
ETH1/ETH2	ネットワークのプロパティが表示されます。

System

System Monitor

本製品の起動回数や累計操作時間、本製品内部の温度などが表示されます。

System Settings	
Information	
System	System Statistics
System Monitor	Boot times : 377
Date and Time	Current operation time : 0 [h]
Language	Accumulated operation time : 155 [h]
Factory Reset	Memory usage : 536 / 921 [MB]
Backup Restore	Internal temperature : 36.3 [°C]
Display	Export System Log
Ethernet	Save log file to storage device
Security	<input checked="" type="radio"/> USB storage <input type="radio"/> SD card
SiteManager	<input type="button" value="Export"/> <input type="button" value="Eject storage device"/>

機能	説明
System Statistic	本製品の起動回数や累計操作時間、本製品内部の温度などが表示されます。 ファクトリーリセットおよび復元を実行したとしても、 Boot times および Accumulated operation time はクリアされません。
Export System Log	システム設定の操作ログを外部ストレージにエクスポートします。 ログデータのエクスポート後に外部ストレージを取り外すには、 Eject storage device ボタンをタッチします。対応する LED が消灯していることを確認し、製品から外部ストレージを取り外します。

Date and Time

製品の時計データを設定します。

System Settings	
Information	
System	Date and Time
System Monitor	Date <input type="text" value="2025/06/17"/>
Date and Time	Time <input type="text" value="04:47:35"/>
Language	Timezone UTC <input type="button" value="Change"/>
Factory Reset	Synchronized with NTP server.
Backup Restore	<input type="checkbox"/> Disable
Display	NTP Server <input type="text"/> <input type="button" value="Test"/>
Ethernet	<input type="button" value="Save"/>
Security	
SiteManager	

機能	説明
Date/Time	NTP サーバーを無効に設定した場合に、製品の日付や時刻を設定します。
Timezone	本製品を使用する地域の標準時間 (タイムゾーン) を選択します。

機能	説明
Synchronized with NTP Server	NTP サーバーと同期した時刻調整を行うかどうかを選択します。 初期値： Disable
NTP Server	NTP サーバーを指定します。

Language

システム設定のユーザーインターフェイス言語を選択します。

System Settings
⏻ ↗

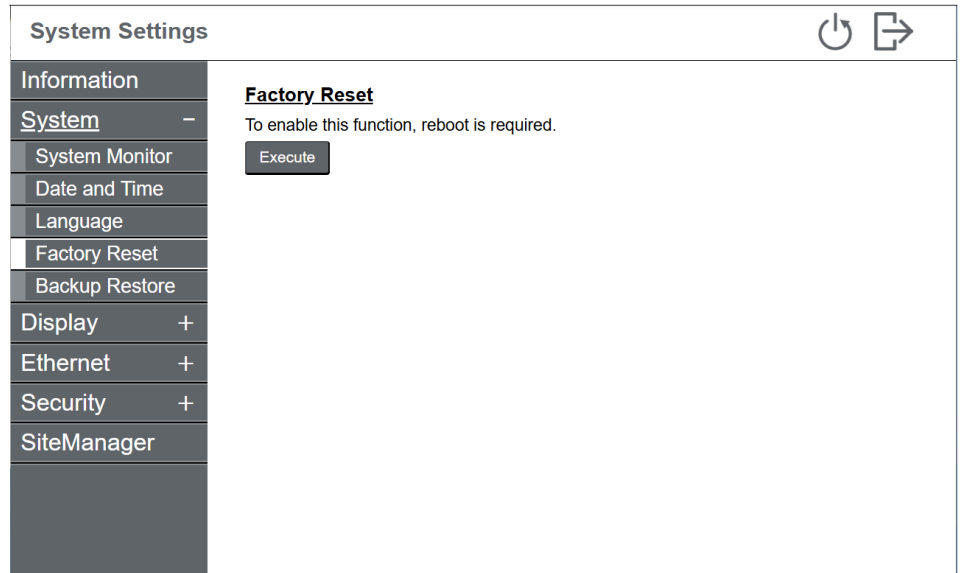
Information	Language
System -	English ▼
System Monitor	Save
Date and Time	
Language	
Factory Reset	
Backup Restore	
Display +	
Ethernet +	
Security +	
SiteManager	

機能	説明
Language	システム設定のユーザーインターフェイス言語を英語、日本語から選択します。 初期値： English

Factory Reset

本製品をご購入時の状態に戻すことができます。この機能を実行できるのは管理者アカウントのみです。

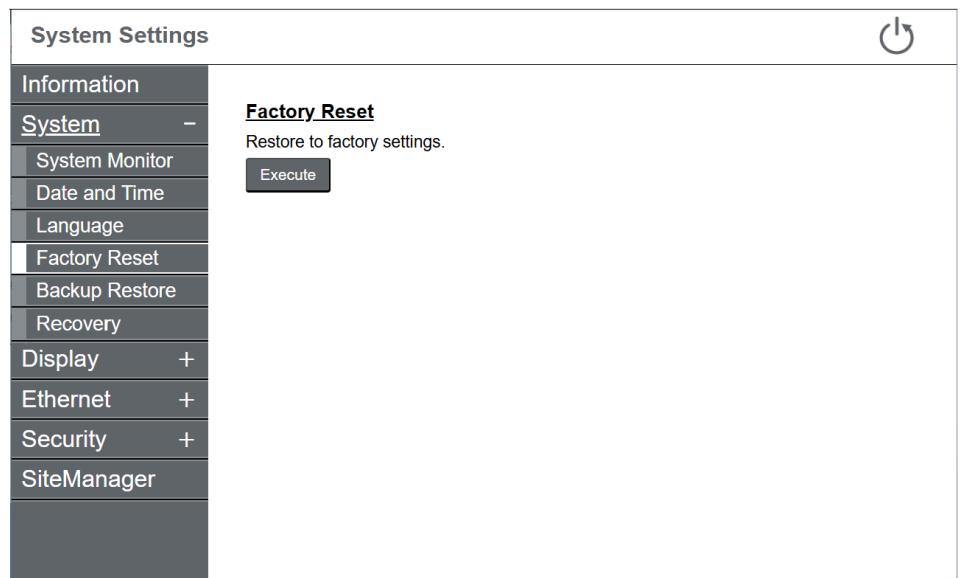
ファクトリーリセットを行うには、製品の再起動が必要です。



再起動後、パスワードを使用しているかしていないかによって、ファクトリーリセットの手順が異なります。

パスワードを使用している場合

手順については、ファクトリーリセット (パスワードを使用している場合), 19 ページ を参照してください。



パスワードを使用していない場合

ファクトリーリセットを行うには、リセットキーファイルを作成し外部ストレージに保存します。

手順については、ファクトリーリセット (パスワードを使用していない場合), 20 ページ を参照してください。

System Settings

Information	
System -	
System Monitor	
Date and Time	
Language	
Factory Reset	
Backup Restore	
Recovery	
Display +	
Ethernet +	
Security +	
SiteManager	

1. Download Factory Reset Key File

Reset key file is necessary to execute Factory Reset.
Please save to USB storage.

Save to USB storage
Eject USB storage

2. Factory Reset

Copy reset key file to root of SD card then insert SD card to the product.

Execute
Eject SD card

機能	説明
Save to USB storage	リセットキーファイルを作成し、USB ストレージデバイスのルートに保存します。
Eject USB storage	USB ストレージを取り外します (アンマウント)。 USB ストレージ LED が消灯していることを確認して、製品から USB ストレージデバイスを取り外します。
Execute	SD カード内のリセットキーファイルを使用してファクトリーリセットを実行します。
Eject SD card	SD カードを取り外します (アンマウント)。 SD カードアクセス LED が消灯していることを確認して、製品から SD カードを取り外します。

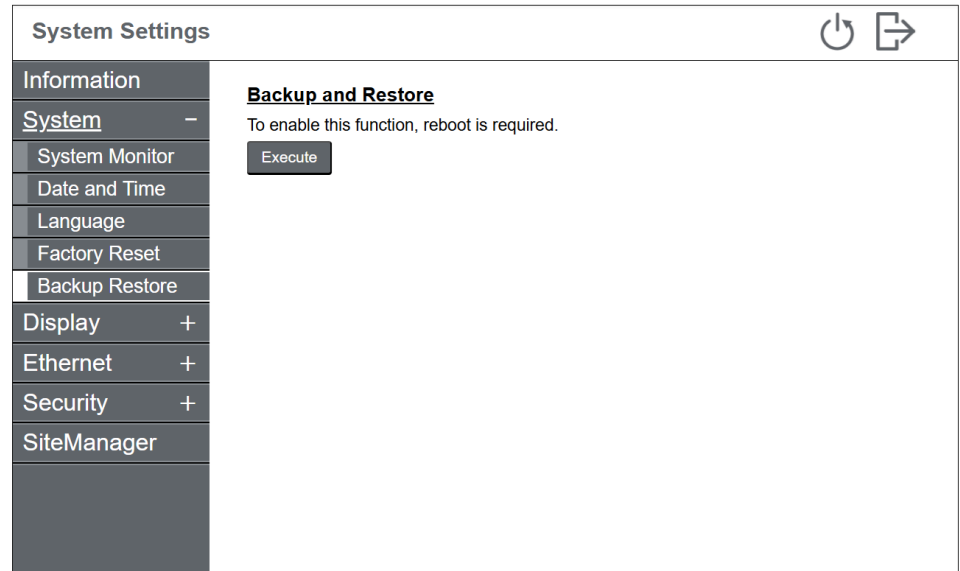
注記： リセットキーファイルは他の製品でのリセットには使用できません。それぞれの製品で実行してください。

Backup Restore

製品内のデータを外部ストレージにバックアップします。また、外部ストレージ内のバックアップファイルを使用して製品を復元します。この機能を実行できるのは管理者アカウントのみです。

バックアップまたは復元を行うには、製品の再起動が必要です。

手順については、バックアップと復元, 21 ページ を参照してください。

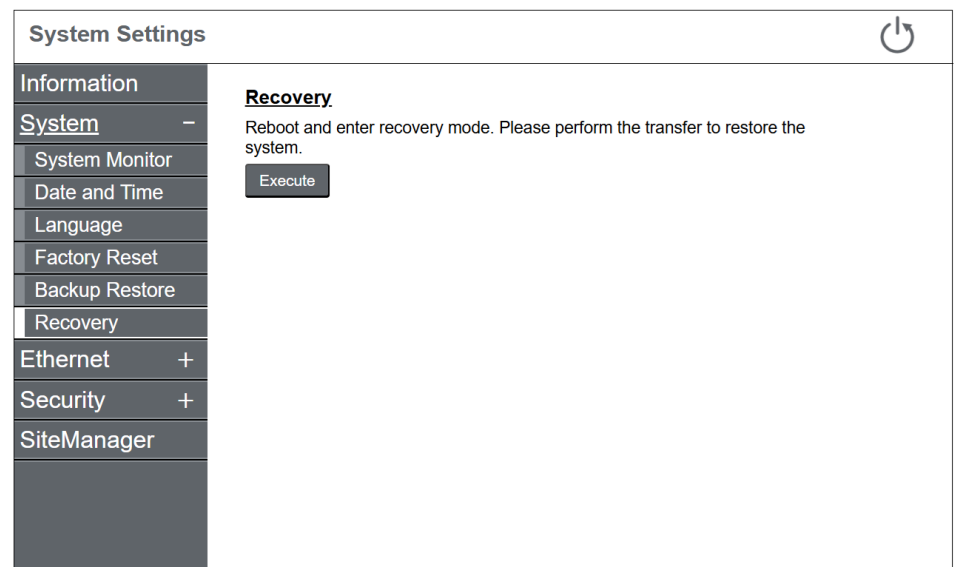


Recovery

HMI ランタイムが正常に動作しなくなった場合、製品をリカバリモードで再起動します。リカバリモードで画面作成ソフトウェアからプロジェクトファイルを転送することで、ランタイムを復元できる場合があります。

この機能は、管理者アカウントで操作し、ご使用の画面作成ソフトウェアが対応している場合のみ使用できます。

手順については、トラブルシューティング, 22 ページ を参照してください。



Display

輝度調整やタッチチェックなどディスプレイに関する設定を行います。

アナログ抵抗膜方式タッチパネルまたはマトリクスタッチパネル搭載モデル

System Settings
⏻ ↗

Information	Brightness Please push [Save] to save the brightness setting.
System +	<input style="width: 100%;" type="range"/> Save
Display -	Calibration Tool Touch the center of the cross. After 10 seconds without touch, the calibration will be cancelled.
Display1	Start
Ethernet +	Touch Check Check touch accuracy.
Security +	Start
SiteManager	Front USB <input type="checkbox"/> Disable
	Save

機能	説明
Brightness	ディスプレイの輝度を設定します。
Calibration Tool	タッチ位置の補正を行います。
Touch Check	タッチパネルの動作を確認します。タッチした位置が反転表示されます。
Front USB	<p>フロント USB ポートの有効/無効を切り替えます。フロント USB ポート搭載モデルでのみ表示されます。</p> <p>初期値： Disable</p> <p>注記： フロント USB ポートを有効にすると、サイバーセキュリティリスクが増加する可能性があります。フロント USB ポートを使用していない場合は、無効にすることをお勧めします。</p>

投影型静電容量方式タッチパネル (PCAP) 搭載モデル

System Settings
⏻ ↗

Information	Brightness Please push [Save] to save the brightness setting.
System +	<input style="width: 100%;" type="range"/> Save
Display -	Optimize the capacitance Optimize the capacitance to the environment.
Display1	Start
Ethernet +	Touch Check Check touch accuracy.
Security +	Start
SiteManager	Touch Mode Please select Touch Panel Mode.
	<input type="text" value="Standard Mode"/> Save

機能	説明
Brightness	ディスプレイの輝度を設定します。
Optimize the capacitance	静電容量式タッチを最適化します。画面をきれいに拭いてから開始してください。処理が完了するまで画面に触れないでください。

機能	説明
Touch Check	タッチパネルの動作を確認します。タッチした位置が反転表示されます。
Touch Mode	<p>使用環境に対応した以下の3つのモードがあります。ご使用の環境に応じたモードを選択してください。</p> <p>Standard Mode : 指での操作に適したモード。</p> <p>Water Detection Mode : 画面に水滴等がついた状態でのタッチ入力を無効化するモード。水滴等の液体によるタッチパネルの誤動作を防ぎます。水や異物をふき取ってから、約2秒でタッチ入力が可能となります。</p> <p>Glove Mode : 軍手、ゴム手袋での操作に適したモード。</p> <p>初期値 : Standard Mode</p> <p>注記 :</p> <ul style="list-style-type: none"> 手袋の種類によっては操作できないことがあります。 タッチの感度を上げる為、環境ノイズに対しては影響を受けやすくなります。

Ethernet

ネットワーク設定を行います。この機能を実行できるのは管理者アカウントのみです。

オプションのイーサネットインターフェイス拡張ユニットが GP6000 シリーズアドバンスモデルに取り付けられている場合は、メニューに「E-ETH」が表示されます。

機能	説明
IP Mode	<p>Manual、Auto、Disable から選択します。</p> <p>ETH1 の初期値 : Manual</p> <p>ETH2 の初期値 : Disable</p> <p>E-ETH の初期値 : Disable</p>
IP Address	<p>IP Mode で Manual を選択した場合に、IP アドレスを設定します。</p> <p>ETH1 の初期値 : 192.168.1.80</p> <p>注記 : ETH1/ETH2/E-ETH のセグメント (IP アドレスのネットワーク部分) が異なる IP アドレスを設定してください。</p>
Subnet Mask	<p>IP Mode で Manual を選択した場合に、サブネットマスクを設定します。</p> <p>ETH1 の初期値 : 255.255.255.0</p>
Default Gateway	<p>IP Mode で Manual を選択した場合に、ゲートウェイを設定します。</p>

機能	説明
DNS Settings	DNS サーバーを指定する方法を Manual 、 Auto から選択します。 ETH1 の初期値 : Manual
Speed & duplex	通信設定を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • Auto negotiation (初期値) • 100Base Full duplex • 100Base Half duplex • 10Base Full duplex • 10Base Half duplex
MAC address	MAC アドレスが表示されます。

Security

Password

パスワードを使用している場合

パスワードを変更します。手順については、[パスワードの変更](#), 15 ページ を参照してください。

注記 : 10 分以上画面上で操作が行われない場合は、自動的にログアウトされ、ログイン画面に戻ります。

System Settings
🔄 🏠

Information

System +

Display +

Ethernet +

Security -

Password

User Account

Firewall

IP Forwarding

SiteManager

Change Password

Use password Do not use password

ⓘ

Show password

Register

Password Reset on Login Screen

Enable

Save

機能	説明
Use password/Do not use password	システム設定へのアクセスにパスワード認証を行うかどうかを選択します。 注記 : <ul style="list-style-type: none"> • パスワードを使用しない場合、不正アクセスリスクが高まります。システムを安全に運用するためにはパスワードで保護することを強くお勧めします。 • 標準ユーザーアカウントが登録されている場合は、この設定を Do not use password に変更することはできません。先に標準ユーザーアカウントを削除してから設定を変更してください。
Enter Administrator Name/ Enter User Name	現在ログインしているユーザー名が表示されます。名前を変更する場合は、4 ~ 100 文字の名前を入力します。
Current Password	現在使用しているパスワードを入力します。

機能	説明
New Password/Confirm Password	新しいパスワードを入力します。パスワードの要件を参照してください。
Password Reset on Login Screen	有効の場合、ログイン画面に" Can't login "が表示されます。タッチすると、パスワードリセット画面が表示されます。詳細については、パスワードのリセット, 16 ページを参照してください。 初期値 : Enable 注記 : この設定を無効にした場合、管理者用パスワードを忘れるとパスワードのリセットができません。弊社カスタマーケアセンターまでご連絡ください。この場合、製品内のすべてのデータが失われます。

パスワード要件

パスワードは次の要件を満たす必要があります。

Number of characters	8 文字以上 100 文字以下
Types of characters	以下の種類の文字をそれぞれ少なくとも 1 つずつ使用 : <ul style="list-style-type: none"> • アルファベットの大文字 (A ~ Z) • アルファベットの小文字 (a ~ z) • 数字 (0 ~ 9) • 記号 (特殊文字) : !"#\$%&'(アポストロフイ)()*+,-./:;<=>@[\] ^ _ `(アクサングラフ){ }~

パスワードを使用していない場合

パスワードを使用しない状態から使用する状態に変更するには、パスワードリセットが必要です。手順については、パスワードのリセット, 16 ページを参照してください。

パスワードリセットを実行するには、オプション品の SD カードと市販の USB ストレージが必要です。あらかじめ FAT、FAT32、exFAT 形式のファイルシステムでフォーマットされた外部ストレージを準備してください。

System Settings

Information	<p>1. Download Reset Key File</p> <p>Reset key file is necessary to execute Password Reset. Please save to USB storage.</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> Save to USB storage Eject USB storage </div>
System +	<p>2. Password Reset</p> <p>Copy reset key file to root of SD card then insert SD card to the product.</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> Execute Eject SD card </div>
Display +	
Ethernet +	
Security -	
Password	
Firewall	
IP Forwarding	
SiteManager	

注記 : リセットキーファイルは他の製品でのリセットには使用できません。それぞれの製品で実行してください。

User Account

ユーザーアカウントを追加します。この機能を実行できるのは管理者アカウントのみです。

手順については、ユーザーアカウントの追加 / 削除、17 ページ を参照してください。

The screenshot shows the 'System Settings' interface with a sidebar on the left containing menu items: Information, System (+), Display (+), Ethernet (+), Security (-), Password, User Account, Firewall, IP Forwarding, and SiteManager. The main content area is titled 'Create User Account' and contains the following elements:

- Radio buttons for 'Use password' (selected) and 'Do not use password'.
- Input fields for 'Enter User Name', 'Enter Password', and 'Confirm Password'.
- A 'Show password' checkbox.
- A 'Register' button.

ユーザーアカウントを作成すると、画面右上にアカウント切り替えアイコンが表示されます。アイコンをタッチすると **Change Account** 画面が表示されます。

The screenshot shows the 'System Settings' interface with the same sidebar as above. The main content area is titled 'Change Account' and contains the following elements:

- Input fields for 'Enter Account Name' and 'Enter Password'.
- A 'Show password' checkbox.
- A 'Login' button.
- A '[Can't login](#)' link.

An arrow labeled 'A' points to the user icon in the top right corner of the interface.

A. アカウントの変更

注記： パスワードリセットを実行した場合、すべてのアカウントがリセットされます。

Firewall

この機能は管理者アカウントでのみ使用できます。

パケットフィルター機能の有効 / 無効を切り替えます。パケットフィルター機能が有効な場合、ネットワークを通過するパケットを監視し、通信を許可するかブロックするかを判断します。本機能は初期設定のまま使用することをお勧めします。

初期値：**Enable**

System Settings
🔄 🏠

Information	Packet Filter
System +	Enable packet filter function.
Display +	<input checked="" type="checkbox"/> Enable
Ethernet +	<input type="button" value="Save"/>
Security -	
Password	
User Account	
Firewall	
IP Forwarding	
SiteManager	

IP Forwarding

この機能は、GP6000 シリーズアドバンスモデルに管理者アカウントでログインした場合に使用できます。

この機能は、受信した IP パケットを宛先情報に基づいて適切なインターフェイスに転送することで、異なるネットワーク間の通信を可能にします。

注記： Ethernet メニューで、**Default Gateway** が正しく設定されていることを確認してください。

System Settings
🔄 🏠

Information	IP Forwarding
System +	Please specify In and Out interfaces. To allow bidirectional communication, add two rules: In→Out and Out→In.
Display +	In: <input type="text" value="ETH2"/> Out: <input type="text" value="ETH1"/>
Ethernet +	<input type="button" value="Add"/>
Security -	
Password	
User Account	
Firewall	
IP Forwarding	
External Access	
SiteManager	

Setting List

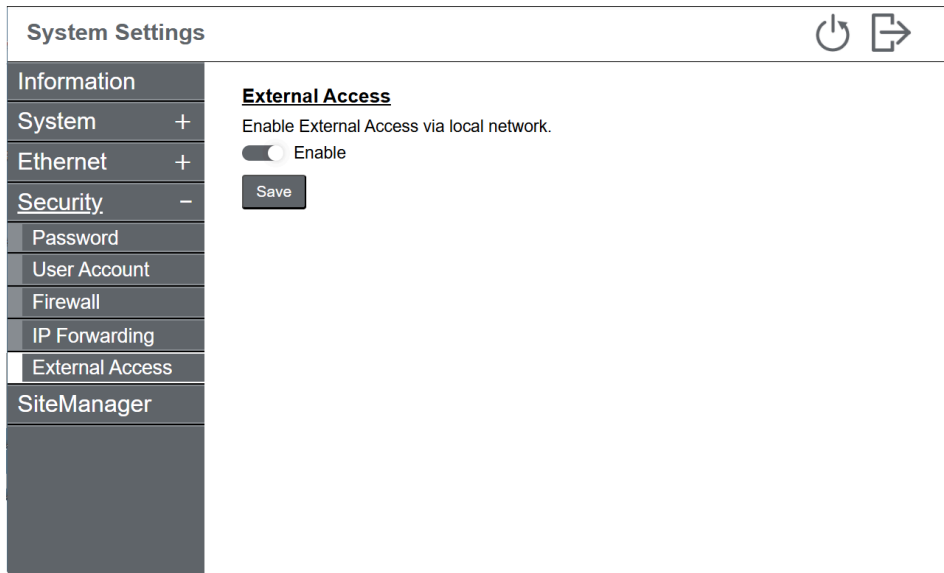
<input type="checkbox"/> All	In	Out
<input type="checkbox"/>	ETH1	ETH2

External Access

この機能は、GP6000 シリーズアドバンスモデルの DIN マウントタイプに管理者アカウントでログインした場合に使用できます。

リモートコンピューターから製品のシステム設定へのアクセスを許可するかどうかを設定します。

初期値：**Enable**



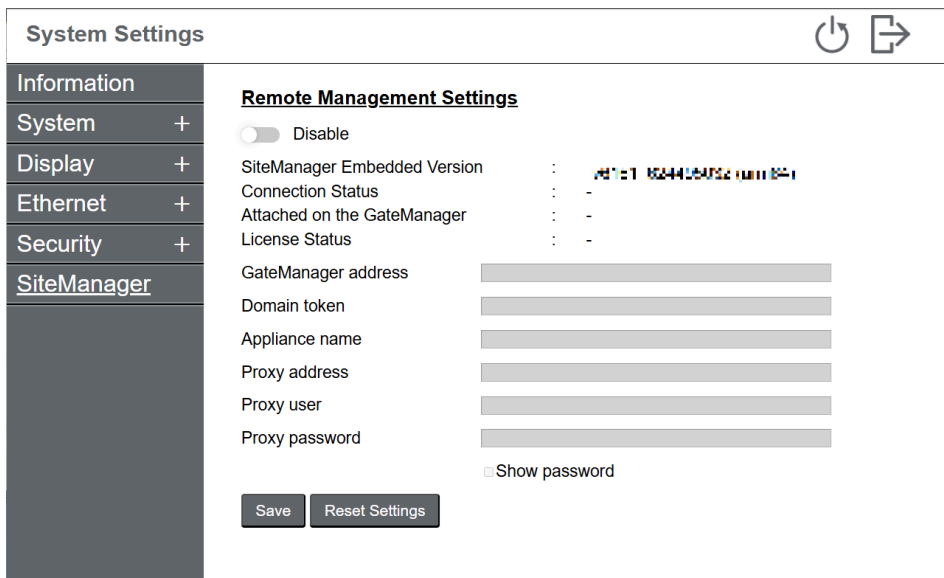
SiteManager

この機能は管理者アカウントでのみ使用できます。

パソコンやタブレット端末を使用して、遠隔地に設置されている HMI 製品を表示 / 操作するには、外部からの不正なアクセスを防ぐことができるシステムの構築が求められます。Pro-face Connect (別売) をインストールすることで、安全なリモートアクセスシステムを構築できます。

Pro-face Connect は、現場で使用される HMI 製品 (SiteManager)、オフィスのパソコンやタブレット端末 (LinkManager)、およびそれらを接続するサーバー (GateManager) から構成されています。

Pro-face Connect についての詳細は、弊社ウェブサイトを参照してください。
<https://www.pro-face.com>



機能	説明
Remote Management Settings	Pro-face Connect を使用して本製品にリモートアクセスする場合は、SiteManager 機能を有効にします。 初期値 : Disable
GateManager address/ Domain token	アクセスする GateManager の IP アドレスおよび GateManager に接続するためのパスワード (トークン) を入力します。

機能	説明
	これらの情報は GateManager からメールで送信された GateManager X.509 証明書の下部に記載されています。
Appliance name	対象のデバイス名 (SiteManager の名前) を入力します。ここで設定した名前が GateManager 上に表示されます。
Proxy address/Proxy user/ Proxy password	必要に応じてプロキシサーバーの IP アドレス、アカウント名、パスワードを入力します。 プロキシサーバーの情報については、ネットワーク管理者にご確認ください。

注記： GateManager から登録済みの SiteManager を削除した場合、SiteManager を初期化し、ライセンスを再割り当てする必要があります。設定をリセットし、GateManager の管理者へライセンスの再割り当てを依頼してください。(同じライセンスは使用できません。ライセンスの再発行には 24 時間かかります。)

シュナイダーエレクトリックホールディングス株式会社

大阪府大阪市中央区北浜4-4-9
541-0041 日本

+ 81 (0) 50 4561 4800

www.pro-face.com

規格、仕様、設計はその時々で変更されるため、この出版物に含まれる情報は必ず確認を取ってください。

© 2026 – シュナイダーエレクトリックホールディングス株式会社。著作権保有。

GP6000-SYS-MM01-JA.00